

- 15 口以上 16 口未満は 1 数
- 16 口以上 17 口未満は 2 数
- 17 口以上 18 口未満は 0 数
- 20 口以上 21 口未満は 136 数
- 24 口以上 25 口未満は 1 数
- 25 口以上 26 口未満は 1 数
- 26 口以上 27 口未満は 1 数
- 30 口以上 31 口未満は 4 数
- 32 口以上 33 口未満は 0 数
- 33 口以上 34 口未満は 1 数
- 35 口以上 36 口未満は 0 数
- 40 口以上 41 口未満は 8 数
- 50 口以上 51 口未満は 2 数
- 60 口以上 61 口未満は 2 数
- 80 口以上 81 口未満は 1 数
- 100 口以上 101 口未満は 3 数
- 160 口以上 161 口未満は 1 数
- 220 口以上 221 口未満は 1 数
- 10 万円以上(入金者人数) 161

募金計画

名称 ICM 90 日本数学会特別募金

対象 日本数学会会員および募金主旨賛同者

募金 1 口 5000 円

(20 口以上寄付された方の ICM 90 の登録費は免除される。免除分には正参加者に加え同伴参加者 1 名含む)

目 標 額 3000 万円以上

募金期間 1987 年から 1990 年 8 月まで

募金団体 日本数学会

募金方法 郵便振替にてご送金ください。

加入者名 ICM 90 日本数学会特別募金

加入者番号 東京 8-27526

郵便振替用紙は下記の実務担当者にご請求下さい。

実務担当者 飯高 茂

(学習院大学理学部数学教室 電話 03-986-0221 内 445)

ICIAM 90 について

International Conference on Industrial and Applied Mathematics が 1991 年 7 月 8 日～7 月 12 日まで、ワシントンで開催されます(主催は SIAM 社です)。

投稿規定等に関する資料請求並びにお問い合わせは

ユサコ(株) TEL 03-502-6473・FAX 03-593-2709

をお願い致します。

京都大学数理解析研究所から、平成 2 年度共同利用研究計画が、次のように決定された旨通知がありましたので、おしらせ致します。

共同利用研究計画(平成 2 年度分)

	題 目	研究員または代表者(所属)	予 定 期 間
長期研究員	Super dynamical systems と Wiener 空間上の超関数論	大 和 祐 一(広島大理)	2. 4. 1～3. 3. 31
	楕円ファイバー空間の研究——一般化された対数的変換——	藤 本 圭 男(静岡大理)	2. 4. 16～2. 10. 6
	逆固有値問題および Dirichlet-Neumann map に対する逆問題の数値解析	山 本 昌 宏(東大教養)	2. 8. 1～2. 9. 15
短期研究員 (個人)	Affine Lie 群の構成とその表現の研究	須 藤 清 一(愛媛大理)	2. 7. 19～2. 8. 1
	Basic classical Lie superalgebra のユニタリ表現の分類と構成	古 津 博 俊(日大理工)	2. 7. 30～2. 8. 18
短期研究員 (共同)	特異積分方程式の数値解析と境界要素法の基礎づけ	磯 祐 介(京大数研)	(2. 5. 9～2. 5. 11 3. 1. 9～3. 1. 11)
	変換群論と手術理論	森 本 雅 治(岡山大教養)	2. 5. 14～2. 5. 18
	Teichmüller flow のエルゴード論的研究	盛 田 健 彦(東工大理)	2. 5. 21～2. 5. 26
	複素領域における微分方程式の漸近解析	真 島 秀 行(お茶の水女大理)	2. 5. 28～2. 5. 31
	幾何構造と表現空間	小 島 定 吉(東工大理)	2. 6. 18～2. 6. 23
	代数幾何学とホッジ理論	斎 藤 政 彦(北大理)	2. 7. 9～2. 7. 13
	表現論と組合せ論	松 澤 淳 一(京大理)	2. 9. 3～2. 9. 8
	Alien calculus and eigenvalue problems	佐 藤 幹 夫(京大数研)	2. 9. 10～2. 9. 22
	葉層のトポロジー	水 谷 忠 良(埼玉大理)	2. 10. 29～2. 11. 1
	擬凸領域の Bergmann 核の研究	郡 敏 昭(早大理工)	2. 11. 6～2. 11. 9
	非包摂的關係	岩 崎 敷 久(京大理)	2. 11. 7～2. 11. 10
	連立非線形方程式の大域における数値解法と	篠 原 能 材(徳島大工)	2. 11. 12～2. 11. 14

お知らせ

1990年度日本数学会理事長

本年度日本数学会理事長に服部晶夫教授(明治大学)が再選されました。

1990年度日本数学賞春季賞

本年度日本数学会賞春季賞受賞者として、東京大学理学部の俣野博氏が選ばれました。受賞業績は‘無限次元力学系の理論と非線形偏微分方程式’です。年会で受賞記念講演が行われました。氏の業績については、本誌42巻4号に掲載を予定しております。

1990年度幾何学賞

本年度標記受賞者は二木昭人氏(東京工業大学理学部)で、複素多様体上のEähler-Einstein計量に関する二木不変量の発見が高く評価され、贈られたものです。

学士院賞受賞の三氏

1990年3月12日に飯高茂氏(学習院大学教授)、森重文氏(名古屋大学教授)、川又雄二郎氏(東京大学助教授)は‘代数多様体の分類理論の研究’に対して、平成2年度の日本学士院賞を受賞されることが決まりました。授賞式は6月上旬、日本学士院で行われます。

森重文氏コール賞受賞

森重文氏(名大教授)は、代数多様体の分類に関する同氏の業績に対して、アメリカ数学会より、第23回コール賞(1990 Cole Prize in Algebra)を受賞されました。

ゲルファント氏京都賞受賞

1989年度京都賞基礎科学部門受賞者L. M. Gelfand氏は、昨年11月6日から15日まで来日し京都に滞在しました。その間、同教授の講演‘A-Discriminant and their quantization’を中心に、12日京都国際会議場でワークショップが催されました。

1990年度秋季総合分科会と来年度年会開催地

本年度秋季総合分科会は、9月26日(水)から9月29日(土)まで埼玉大学で行われる予定です。

また、1991年度年会は、1991年4月1日(月)から4月4日(木)まで慶應大学日吉校舎で行われる予定です。

ICM 90について

- 1) 第2次サーキュラー(Second Announcement)の配布を全世界に行い、現在申し込みが続々きている。
- 2) 招待講演者について招待状を出し返事を集め最終

的に招待講演者を確定する作業を行っている。

3) 1990年1月27日に開かれた第11回国際数学連合総会及び第21回国際数学会議組織委員会の幹事会で‘ICM 90日本数学会特別募金に20口以上のご寄付された方の免除されるICM 90登録費’のなかに同伴参加者を1名に限り含めることが決まった。

従って20口以上寄付された方は正式参加者としての登録費と同伴参加者1名分の登録費が免除される。

4) 国際数学会議記念切手が1990年8月17日に発行されることがきまった。戦後のICMではモスクワとヘルシンキで出されている。ワルシャワでは会議を記念して数学者切手が出された。

5) 会議参加申し込みについて

国際数学会議に参加するには第2次サーキュラー(Second Announcement)のForm Aを用いて申し込みをする。日本から申し込むときの登録費は次の通り。

	1990年5月15日以前	5月16日以降
正参加者	30,000円	40,000円
同伴参加者	10,000円	10,000円

なお16歳以下の同伴参加者は無料であるが子どもも参加者として登録することができる。

6) ICM 90日本数学会特別募金

90/02/05現在

入金総計 = ¥36,809,000

予約 平均口数(一人あたり) = 7.4

寄付 平均口数(一人あたり) = 7.2

寄付者人数 = 1018

寄付平均額 = ¥36,158 標準偏差 = ¥62,766

目標到達率 (=入金総額/3千万円) 122.7%

入金額の分布(一口は5千円)

0口<	1口未満	6数
1口<	2口未満は	59数
2口以上	3口未満は	416数
3口以上	4口未満は	38数
4口以上	5口未満は	127数
5口以上	6口未満は	10数
6口以上	7口未満は	108数
7口以上	8口未満は	6数
8口以上	9口未満は	24数
9口以上	10口未満は	1数
10口以上	11口未満は	46数
12口以上	13口未満は	11数
14口以上	15口未満は	1数

